



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月2日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4512 URL <https://www.wakamoto-pharm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,675	△21.3	△594	—	△460	—	△556	—
2020年3月期第3四半期	8,486	5.0	△859	—	△818	—	△1,559	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△16.03	—
2020年3月期第3四半期	△44.93	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	14,551	11,318	77.8	326.12
2020年3月期	15,983	11,947	74.8	344.22

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,318百万円 2020年3月期 11,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	△13.9	△600	—	△500	—	△600	—	△17.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	34,838,325株	2020年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	130,834株	2020年3月期	130,591株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	34,707,644株	2020年3月期3Q	34,707,839株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞や、インバウンド需要の消失・個人消費の低迷等により、先行きについて極めて不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。

ヘルスケア事業を取り巻く環境は、消費税増税による個人消費の落ち込みに加え新型コロナウイルスの影響によりインバウンド需要が急激に悪化いたしました。

そのなかにあつて当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」及び主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤(特許を持った後発品)「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」に加えて、乳酸菌製剤「レベニン錠」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オブティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進並びに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き(医薬部外品)「アバンビーズ」シリーズ2製品及び通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」(乳酸菌含有加工食品)の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」及び医薬品、原料薬品の製造販売並びにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は66億7千5百万円(前年同期比21.3%減)、営業損失は5億9千4百万円(前年同期は営業損失8億5千9百万円)、経常損失は4億6千万円(前年同期は経常損失8億1千8百万円)、四半期純損失は5億5千6百万円(前年同期は四半期純損失15億5千9百万円)となりました。なお、WP-1108(BBG250を主成分とする眼科用手術補助剤)の開発進捗の遅延により、当該開発のために資産計上していた特許実施権を取り崩しております。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では、「ドルモロール配合点眼液」、サプリメント「オブティエイド」シリーズの売上が増加いたしました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う患者さんの医療機関への受診抑制、手術・検査数の減少等による「マキュエイド眼注用40mg」「キャピリアアデノアイNeo」及び原料調達問題による「FAD腸溶錠」の売上が減少いたしました。この結果、売上高は42億5千5百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

ヘルスケア事業では、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。訪日外国人激減の影響等により主力製品の「強力わかもと」が大幅に減少いたしました。この結果、売上高は17億2千7百万円(前年同期比38.9%減)となりました。

国際事業では、輸出用の「ゼペリン」及び輸出用原料薬品が減少いたしました。海外向け「わかもと」が増加いたしました。この結果、売上高は5億7千万円(前年同期比15.2%増)となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。コレド室町は政府や東京都からの休業要請を受け、当第3四半期累計期間において4月8日から5月28日まで休館しておりました。この結果、売上高は1億2千万円(前年同期比13.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、145億5千1百万円となり前事業年度末比14億3千1百万円(9.0%減)の減少となりました。流動資産は76億4千9百万円となり9億9千8百万円(11.5%減)の減少、固定資産は69億1百万円となり4億3千3百万円(5.9%減)の減少となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、現金及び預金、売掛金、製品が減少したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、特許実施権が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、32億3千2百万円となり前事業年度末比8億3百万円(19.9%減)の減少となりました。流動負債は16億7千5百万円となり7億5千8百万円(31.2%減)の減少、固定負債は15億5千6百万円となり4千4百万円(2.8%減)の減少となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、支払手形及び買掛金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が減少いたしましたのは、繰延税金負債が減少したことが主たる要因であります。

純資産の部は、113億1千8百万円となり前事業年度末比6億2千8百万円(5.3%減)の減少となりました。繰越利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の74.8%から77.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月4日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,883,666	2,465,432
売掛金	3,078,450	2,899,205
商品及び製品	1,410,642	1,184,971
仕掛品	504,744	366,269
原材料及び貯蔵品	548,492	523,141
未収還付法人税等	6,966	51,325
その他	215,136	159,365
流動資産合計	8,648,099	7,649,712
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,841,082	7,889,467
減価償却累計額	△4,906,097	△5,056,695
建物(純額)	2,934,984	2,832,771
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△228,707	△234,466
構築物(純額)	39,796	34,038
機械及び装置	8,057,099	8,273,447
減価償却累計額	△7,652,178	△7,759,263
機械及び装置(純額)	404,921	514,184
車両運搬具	50,273	35,453
減価償却累計額	△40,968	△30,360
車両運搬具(純額)	9,304	5,092
工具、器具及び備品	982,997	1,015,293
減価償却累計額	△881,880	△907,078
工具、器具及び備品(純額)	101,116	108,214
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	75,400	49,252
有形固定資産合計	3,648,472	3,626,501
無形固定資産		
特許実施権	300,000	-
特許権	109	19
ソフトウェア	177,595	205,173
ソフトウェア仮勘定	3,750	1,742
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	485,134	210,615
投資その他の資産		
投資有価証券	2,411,421	2,304,367
保険積立金	468,720	443,325
その他	363,308	355,708
貸倒引当金	△41,736	△38,783
投資その他の資産合計	3,201,714	3,064,617
固定資産合計	7,335,321	6,901,734
資産合計	15,983,421	14,551,446

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355,782	843,770
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	34,944	22,554
未払消費税等	-	67,712
賞与引当金	170,000	49,884
返品調整引当金	3,000	5,000
その他	770,881	586,767
流動負債合計	2,434,608	1,675,689
固定負債		
退職給付引当金	1,079,452	1,065,321
長期預り金	170,225	172,468
繰延税金負債	348,336	316,279
その他	3,709	2,914
固定負債合計	1,601,724	1,556,984
負債合計	4,036,333	3,232,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	4,939,571	4,383,164
自己株式	△36,125	△36,189
株主資本合計	10,975,161	10,418,691
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	971,925	900,080
評価・換算差額等合計	971,925	900,080
純資産合計	11,947,087	11,318,772
負債純資産合計	15,983,421	14,551,446

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	8,486,921	6,675,082
売上原価	3,662,321	3,321,626
売上総利益	4,824,600	3,353,456
販売費及び一般管理費	5,683,673	3,947,961
営業損失(△)	△859,073	△594,504
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	44,171	45,302
受取補償金	-	6,325
雇用調整助成金	-	89,235
為替差益	708	499
その他	16,782	13,589
営業外収益合計	61,675	154,964
営業外費用		
支払利息	477	379
固定資産除却損	1,595	-
寄付金	15,319	12,569
その他	3,434	7,991
営業外費用合計	20,827	20,940
経常損失(△)	△818,225	△460,480
特別利益		
投資有価証券売却益	-	217,246
特別利益合計	-	217,246
特別損失		
減損損失	-	300,000
特別損失合計	-	300,000
税引前四半期純損失(△)	△818,225	△543,234
法人税、住民税及び事業税	13,138	13,171
法人税等調整額	727,967	-
法人税等合計	741,106	13,171
四半期純損失(△)	△1,559,331	△556,406

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,024,004	2,828,066	495,003	139,847	8,486,921	-	8,486,921	-	8,486,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	5,024,004	2,828,066	495,003	139,847	8,486,921	-	8,486,921	-	8,486,921
セグメント利益又は 損失(△)	△1,019,112	29,087	73,243	57,709	△859,073	-	△859,073	-	△859,073

(注)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)1
	医薬事業	ヘルスケア事業	国際事業	不動産賃貸業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,255,981	1,727,945	570,243	120,912	6,675,082	-	6,675,082	-	6,675,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4,255,981	1,727,945	570,243	120,912	6,675,082	-	6,675,082	-	6,675,082
セグメント利益又は 損失(△)	△287,149	△254,736	△92,268	39,649	△594,504	-	△594,504	-	△594,504

(注)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医薬事業」セグメントにおいて、WP-1108の開発進捗遅延により、当該開発のための特許実施権の減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は当第3四半期累計期間においては300,000千円であります。